



目次

理事長インタビュー 1 甲府国際カントリークラブ理事長 對馬 好次郎	平成元年度 関東倶楽部対抗予選競技成績表 10
春季ジュニア・ゴルフ教室 4	平成元年度 関東倶楽部対抗決勝競技 12
ゴルフQ&A 5	JGAハンディキャップは今 16
平成元年度 関東女子ゴルフ選手権競技 6	新規加盟倶楽部紹介 18
平成元年度 関東アマチュアゴルフ選手権競技 8	分科委員会 20
	月例競技成績表(3・4・6月)、お知らせ 24
	表紙photo 大利根カントリークラブ

強引な結論は出さないほうがよい

甲府国際カントリークラブ理事長 對馬好次郎

聞き手・KGA広報委員 杉山 通敏
写 真・KGA広報委員 石川 博英



對馬理事長

——理事長に就任されたのはいつですか

「1年ほど前になりますかね。それまでは会社のほうの社長をやっていたのですが、理事長になったので、このほうは辞めました。やはり会社経営と倶楽部経営は別の組織がやるものですから、兼務しないほうが良いと思っております。ま、人格を善意に使い分けていけばいいんですが、根本的に経営と運営は別ものですからね。両方が噛み合っとうまくいっている時は問題ないでしょうけど、なんかトラブルが起きた場合に人格を使い分けるのはむずかしいです。たとえ善意でコトを処そうとしても見る人によっては悪意にとられないとも限りませんので……」

——会社経営というのは、やはり理詰めのものなんだろうが、倶楽部運営となると理屈だけでは通らない面も出てくるものなんだろうね。

「そうですね。倶楽部は親睦団体ですから、そこにどうしても義理人情のようなものが入ってくる。もちろん、それだけで運営するわけではないですけど、無視は出来ない。会員からいろいろな意見が出されて、なかには誰かが考えてもおかしい意見もあるわけですが、そういう意見でもしかるべき委員会なら、理事会で検討する。おかしい意見はそこで賛同が得られない。また、得られないから意見としておかしいところがあるわけですね。でも、そこで理事長としてすぐに結論を出すようなことはせず、委員や理事の大勢にまかせる。理事長は強引な結論は出さないほうが良いと思っています」

——社長だとそうもいかない。

「経営の場合はね、時には強引に社長決裁しないと会社の生き死にに関係してきますから。スジ論で押し通すことも必要なのですね」

——ゴルフファーというか、メンバーの意見というのは

個別的なものが多いと思うんです。コース改造のことにしても、クラブハウスの内のことにしても。個人の意見が倶楽部全体を良くするための建設的なものならいいんですけども、その個と全体との和み、その点はどういうふうにお考えですか。

「ゴルフは基本的には個人のゲームだと思いますよね。でも一人でやったんでは面白くないので親しい人が集まって倶楽部をつくったわけで、そこには自ずとお互いに“個”を尊重する気持ちを持ち合っていないとうまくいかない。じゃあ、その“尊重”は何を基準にしておいたらいいか、と言いますと、わたしはエチケットとルールを守り合うことだと思うんです。ゴルフはそれがあるから、そしてそれを守り合うから、どなたとでも親しくプレー出来て、ハウス内での過し方も円滑にいくんじゃないでしょうか。会員一人ひとりがテンデンスバラバラなことをやっていたら、倶楽部になりませんものね」



山梨県民は団結力が強い……

山梨県民性とゴルフの関係

——その点、甲府という土地柄が倶楽部に反映してる面がいくつかあるでしょうね。

「ご承知のように武田信玄が出たところで、大変に団結力がある。郷土愛も強いんです。それでいて甲府商人と言われるような一面もあるわけですが、商売をなさる方というのは、いまの話してはいてですが“個”を大切にされるんですね。個人個人を尊重する」

——人は石垣、城は人、ですか。

「個人を大切にしたいうえで、全体を良くしていこう。それで団結力が出たり、郷土愛が強くなったりするんじゃないですかね。倶楽部運営や各種の委員会などは、そういう意味で山梨の県民性が良いように反映していると思っています。ですから理事長が強引な結論を出さなくても済むわけです（笑）」

——会員はどのくらい、いらっしゃるんですか？

「正会員が約900名で、平日会員その他を合わせても1050名程度です。このうち51%が山梨県下の在住者、25%程度が東京、10%程度が神奈川、あとが長野その他の県になるわけですが、山梨の人口は85万ほどしかないんですね、これはたしか全国で43番目だと思います。人口的には過疎の県ですから、ゴルファーも少ない。いきおい東京方面からのビジターの方が多く来場する。中央高速道が出来たせい

もありましてね。ところが、初めてプレーなさる方にはちょっと、難かしいというか、きついところがあるんです」

——それはどういう意味ですか？

「起伏がかなりあるわけです。ブラインドのホールもあるし、打上げ打下し、ドッグレッグ、ま、バラエティに富んでるんです。距離の測定とか攻め方といったものが、馴れないとつかめないわけです」

——なるほど、ローカルナレッジを持ってるかどうかで、プレーが影響されるわけですね。

「ま、会員は問題ですがね、初めてプレーなさる方が戸惑うところがあって、それで数年前からグリーンボーイを使うようにしました」

——例の“キャディバック自動運搬車”ですね。

「省力化とか、労働管理という問題もないではないですが、キャディ本来の“仕事”は何かということを考えてんです。キャディがやるべき、本当のサービスですね、これはバックの運搬もさることながら、お客さんのプレーを助けるのが本来の“仕事”じゃないかと思うんです。わたしどものようなコースでは、いまおっしゃったローカルナレッジがないと思わぬミスをする。ま、思わぬラッキーに巡り合うこともありますかね（笑）。で、ティ・ショットの狙いどころとか、グリーンまでの距離ですとか、グリーン周りの状況ですとか、そういうものをプレーヤーに正しく伝えられるようにしなければいけないと思ったわけです。クラブの運搬はグリーンボーイにさせて、そっちのほうの教育を徹底させるようにしてるんですが、今のところいい方向に進んでると思います」

倶楽部対抗にも出場したい

——今年で開場何年になりますか。確か、山梨県下では“最古参”じゃないかと思えますけども。

「“富士レイク”さんがわたしどもより古いはずで、うちは2番目だったと思います。開場は何年でしたか、ちょっと確かじゃないですが、会社が設立したのは昭和39年5月11日、開業は40年の9月です。現在、県下には24のゴルフ場があり、建設中が7、申請中のところがやはり7つほどあるようですから、こういうところが全部出来ると40コース近くなる

わけです。」

——それで、ひとつお願いがあるんですが、現在、山梨県だけが関東倶楽部対抗に出場なさってないのですね。関東ゴルフ連盟に加盟してる山梨県の倶楽部は13ありますけど、去年、初めて“グリーンバレー”が参加したにすぎないんです。1倶楽部では県単位（3倶楽部以上なら予選のうえ1倶楽部が決勝大会に出場）の予選が出来ませんので、長野県に繰入れてやったそうです。ところが、その予選を見事に通過しましてね、“グリーンバレー”が。山梨なのに長野から決勝大会に進出したわけです。これは非常に特殊なケースなので、やはり13倶楽部も加盟しているのですから、甲府国際のような古い倶楽部が音頭をとっていただいて、山梨県だけで予選大会が出来るようにしてもらいたい、という意見が出ております。

「そういう話はわたしもチラホラ聞いていますよ。今年からKGAの理事をおおせつかったこともありますし、なんとかわたしどものほうでまとめ役をかって出なければ、と思っています。やはり中心になる倶楽部がありませんと、コトが進まないでしょうからね。これは早急に音頭をとらなければなりませんよ。ま、わたしが強引に決めることではないでしょうが（笑）」

相似たり鉄道経営とゴルフ場経営

——ところで鉄道経営（理事長は相模鉄道社長）と倶楽部運営は似たところがありませんでしょうか。サービスという点で。

「かなりありますね。鉄道というのは老若男女、職業も身分も、多種多様な方がひとつの車輻に乗り合わせるわけです。老人や体の不自由な方はそれなり



対談中の対馬理事長（右）と杉山委員



“月イチ”ゴルファーなので腕前は……

に特別なサービスをさせていただかなければならないですけど、基本的にはどなたにも平等なサービスをするのがモットーです。反面、そういうふうになまざまな方と同じ車輻に乗り合わせるわけですから、お客さまのほうでもそれなりのエチケットを守っていただきたい。これはゴルフとまったく同じじゃないでしょうか。個人が全体をこわすようなことはしないように注意するわけで、クラブハウスの中に一步入ったら職業も身分もなくなると思うんです」

——コミュニティの場でしょうか。

「そのコミュニティで思い出しましたが、わたしどもの沿線に、“いずみ野”という駅がありまして、この駅にカウンターを置くようにしたんです。切符販売機なども木陰にさりげなく設置して、改札口も従来のような“検問ゲート”みたいな感じじゃないようにして、駅全体をコミュニティの広場みたいにしたいわけです。そうしたら大変に評判が良くて、カウンターに駅員を座らせておくと、いろんな相談をする。沿線の催しものだとか、乗り替え駅のことだとか。むかしはお役所仕事みたいところがあって、どちらかと言えば、駅員が威張っていた。乗せてやるという感じで。国鉄がJRになって、鉄道のほうもなにかと変わって来ましたよ」

——理事長ご自身のゴルフのほうはいかがですか。

「電車は日曜も祭日もなく走りつづけてますからね、休むヒマがないので困ります。甲府へも月に1回行ければいいくらいです」

KGA春季ジュニア・ゴルフ教室

●開催日 3月29、30、31日 ●会場 烏山城カントリークラブ
●参加者 88名(高校39、中学43、小学5、他1)、男子75、女子13



大人顔負けの見事なフォーム

小さなゴルファーの 大きな夢

文・写真 深井 昌司 (KGA広報委員)

KGA主催第19回ジュニア・ゴルフ教室が、3月29日から31日までの3日間、烏山城カントリークラブで開催された。

ジュニア・ゴルファーの増加にともなって今回のゴルフ教室には高校生39人、中学生43人、小学生5人、その他1人と、合計88人が参加するという盛況ぶり。このうち男子が75人、女子13人と、次第に女子の教も増加しており、将来の女子ゴルファーの増加が考えられるため、ジュニア委員会では今年から3名の女子担当委員(女性)を新たに選任強化し、今回のゴルフ教室から指導にあたることになった。



今年から3名の女子担当委員も誕生した



眠い目をこすりながらルールの勉強

初日は11時50分から、練習場を使つての開会式が行なわれた。斎藤ジュニア委員長から諸事項についての注意があり、その後、5班に別れて、それぞれ練習とハーフのラウンドが行なわれた。

期間中は天候には恵まれず、初日、2日目は晴れたり雨が降ったり、最終日はまったくの雨と、グラウンド・コンディションのむずかしい条件であったが、そのなかで豪快にボールを飛ばす者、チョロをする者など、それぞれに真剣にラウンドを行っていた。

17時に入浴をして、引き続いての夕食の後は、夜7時からルールやエチケットの講習会が行なわれ、初日にはルールについてのペーパーテストも行なわれた。講習会で斎藤委員長は「ゴルフは良きパートナーになることが大切」と強調、将来の指導的ゴルファーになるべき若人に対し、参加したプロ達も自分達がいかに努力をしたか、などの経験談を語っていた。

朝は6時の起床に始まり、体操、ランニングを行うなど、かなりのハード・スケジュールであったが、なかには集合時間が守れなかったり、挨拶が出来ないなど、生活の基本ルールを知らない子供も多く、それらの指導にジュニア委員達の苦勞は相当なものに見受けられた。しかし、最終日にはマナーもだいぶ改善されて、技術向上とともに成果があがったようである。

ゴルフ Q&A

回答：河西幹一・日本ゴルフ協会ルール委員
関東ゴルフ連盟競技副委員長

今回は、江戸崎カントリー倶楽部のキャプテン・マスター室にお願ひし、同倶楽部のプレーヤーが最近遭遇した問題を特集しました。この欄で何度かとり上げた問題もありますが、各倶楽部でかなりの頻度でくり返されているものと推察いたしました。ご精読下さい。

Q-1 プレーヤー“A”がドライバーを使用しティショットしたところ、20cmぐらい動いてティ・グラウンド内に止まった。そこで“A”はクラブをバッグに替えてその球を打ったところOBゾーンへ行ってしまった。

“A”は打ち直しの球をティアップしてドライバーで打った。“A”の処置は正しかったか。

A-1 プレーした個所がいづれもティ・グラウンド区域内のプレーであった場合は、打ち直しの球は、どこであれ、ティ・アップして打ち直すことが出来る。“A”の処置は正しい。

Q-2 マッチ・プレーで9ホールを終了し、後続組が離れていたため“A”“B”両者がホール・アウトを終えたグリーンで練習をした。倶楽部のローカルルールには「ラウンド中は、プレーヤーはそのラウンドのホールアウトを終えたグリーンにおいて、またはそれを目標として練習は出来ない。マッチ・プレーは次のホールの負け、ストローク・プレーはそのホールに2打付加」とあり、“A”“B”両者は合意の反則となるのか。

A-2 委員の調べで、“A”“B”が申し合わせて練習したと認められた時は、R1-3により“A”“B”ともに失格する。そうでない場合は、“A”“B”ともにローカル・ルール違反となり、次のホールは両者とも負けとなり、勝負なし。すなわちハーフとなる。

Q-3 グリーン上のカジュアル・ウォーターを避ける時、近くの下りのラインが残るポイントではなく、それよりやや遠くの上りの易しいポイントを選んでプレスしたが、その場合の処置は。

A-3 グリーン上のカジュアル・ウォーター・ハザードの中に球が止まっている場合は、R25-1b-(ハ)により、罰なしにその状態を避けうる、最大限の救済を受けられる。その場合、プレスはホールに近ならず、ハザード外の場所で、球の止まっていた個所にもっとも近い地点にプレスしなければならぬ、としてある。下りライン、上りライン等に関係なく、上記の指定された個所にプレスしなければならぬもので、もし、プレスした個所が適合した個所でない場合は違反となり、2打罰がつく。

Q-4 ボールのすぐ後ろに、前日の雨で固まった芝のカスが当たったが、それを手で擦って取り除くことが出来るか。

A-4 刈り芝カスは、ルース・インペディメントである。スルー・ザ・グリーンにおいては、それが、地面に固くくいで地面と同一化していない、浮いているような状態では、手であれ、クラブであれ、取り除くことが出来る。その際誤って球が動いた場合、R18-2Cにより、1打罰がつき、球をリリースしなければならないので注意を要す。

Q-5 O・B区域内の橋の上で止まったボールはO・Bか。

A-5 アウト・オブ・バウンズの線は、垂直に上下におよぶと定義されている。したがってOB区域内の橋の上の球は、アウト・オブ・バウンズの球である。

平成元年度 関東女子ゴルフ選手権競技

●開催コース 鎌ヶ谷カントリークラブ 6,160 ヤード パー-72

●開催期間 5月23、24日 2日間 36ホール、ストローク・プレー

ルボ・宮元昭雄 (KGA広報委員)

写真・深井昌司 (KGA広報委員)

優勝者は弱冠15歳

福嶋晃子、身長1m60、体重64キロ、ドライバー平均飛距離260ヤード

アメリカのある広告メッセージに「THE SLEEPING FOX CATCHES NO POULTRY」という文章があった。

「寝ている狐に鶏は獲れない」ということだろうが、裏返しに考えれば、早起者が眠っているうちに、一刻でも早く起きて働くというか、モタモタしていると他人に獲物を獲られているという意味が含まれていると思う。



福嶋選手

ゴルフの社会に引用して、仲間がまだ床の中で寝ているうちに、1時間も早く起きて、スウィングの練習をしたり、ランニングや縄飛びをしたりすることが、基礎体力を作るという点で大きな効果があることは誰でも知っている。しかしこれがまた、いざ実行ということになると、大変精神力のいることも皆様ご承知のとおりである。

大型新人が出現した

平成元年度の関東女子で優勝した福嶋晃子選手は、15歳の高校1年生、幼な顔の少女であるが、恵まれた体格を活かしたパワフルなプレーぶりに、多くのギャラリーは唖然とさせられたようだ。論理的な説得や説明よりもっと重要である感覚的なアプローチから実践的な技術の特訓を受けてきたという。本人は岡本綾子のようなアメリカで活躍できるプロになることが夢だともいう。

最終18番ホール、471ヤード(パー5)の2打目を2アイアンで軽くグリーンまで持ってくるパワーは、どう見ても15歳の少女とは思えない内容だった。

久々にみる新人の頭に、関係者は一様に頼母しく思ったことであろう。

ニクラウスの保証つき

予選ラウンド(相武・佐倉両ゴルフクラブ)を通してきた129名、これにシード選手を加えた141名で決勝ラウンド(36ホール)が行われた。

今年も実力者がそれぞれ上位に顔をのぞかせ、渡辺恵子(高根)、斎藤美樹(甘楽)、西野朱美(袖ヶ浦)、丸谷京子(サン・グリーン) それに最年少の福嶋選手への首位争いとなったが、一昨年の覇者三木恵美子(富士)は調子が今ひとつ、スコアは伸びず、泰道都也子(専修大)、それにホーム・コースで期待された田村千代子(鎌ヶ谷)らもいまひとつ息がなかつた。

初日トップの渡辺の二連覇を疑う者はいなかったが、最終組を廻る渡辺、福嶋、斎藤、西野、ともに一進一退を続けた。渡辺の思わぬ不調を尻目にバックナインに入り、斎藤がトップに躍り出て、一時は斎藤の初優勝かと思わせたが、14・15番と斎藤が崩れ、これまで「自分のゴルフを試したい」と先輩に伍して健闘していた福嶋がトップに躍り出た。一組前を行く丸谷の鋭い追いあげを退け、堂々と優勝をさらった。16番のショートホールで福嶋がバーディーを決めた時、ほぼ優勝の行方を決定的なものとした。



ジュニア・スクールで、ニクラウスから「将来はチャンピオンになれる」と励まされたことが、この少女にとって何よりも大きな夢につながったのかも知れない。まさに驚異的な新人の頭顔である。

ゴルフに対する先天的な感性の持主かも知れない。そしてこれから精神的にも体力的にも成長すれば、女子ゴルフ界にとってすばらしい一流選手の出現となろう。

今大会参加選手の平均年齢は40.2歳。強豪揃いの先輩を尻目に、15歳の少女が関東女子の覇者となったことは、新しい時代の到来を思わせるものであった。

最年長者は62歳の井上喜美(横浜)と里見真佐子(府中)。加藤信子(芙蓉)が、連続20年決勝進出で表彰されるなど、若手に交って老練組が活躍するのも本大会の特色ともいえる。

そして上位42位までの選手が、6月6日より広島カンツリー倶楽部、八本松コースで開かれる日本女子アマ選手権に参加する。

平成元年度 関東女子ゴルフ選手権決勝競技成績表

参加者 141名

Table with columns: 順位, 選手名, 所 属, 第1ラウンド (7/10 イン), 第2ラウンド (7/10 イン), 合計. Lists top 69 players including 福嶋晃子, 丸谷京子, 斎藤美樹, etc.

Table with columns: 順位, 選手名, 所 属, 第1ラウンド (7/10 イン), 第2ラウンド (7/10 イン), 合計. Lists players from rank 69 to 141, including 大川剛子, 木下京子, 村田トシ子, etc.

●予選メダリスト 第1ブロック 矢嶋智都子(富士) 第2ブロック 菊地恵美子(宇都宮) ●連続出場者表彰 連続20年 加藤 信子(芙蓉)

平成元年度 関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技

●開催コース 茨城ゴルフ倶楽部 西コース 7,052ヤード パー72
●開催期間 6月13、14、15日 72ホール、ストローク・プレー

ルボ・杉山通敬 (KGA広報委員)
写真・片山晴美 (KGA広報委員)



初優勝の丸山選手

丸山茂樹 19歳の栄冠

関東ゴルフ連盟傘下11都県（新潟、長野、山梨、群馬、栃木、茨城、千葉、東京、神奈川、静岡）のゴルファーが一堂に会して、今年も「関東アマ」が6月13日から15日まで3日間、茨城ゴルフ倶楽部西コース（7052ヤード、パー72）で行われた。各地6ブロックで行われた地区予選に参加した者は790名。そのうち決勝大会に進出した者はシード選手を含めて168名だった。さらに36ホールのクオリティラウンドを60位でクリアして、後半の36ホールに駒を進め、チャンピオンシップを争った者は72名であった（成績は別表の通り）。

弱冠19歳の丸山茂樹が最終ラウンドの14番（508ヤード、パー5）でバーディを獲って、阪田哲男に追いつき、その後18番まで確実なパープレーをつづけたのに対し、阪田は17番（208ヤード、パー3）でティショットをショートさせたうえ、アプロー



2日目「67」のコースレコードを出した阪田選手

チも寄らず（約3メートル）、パットも入らずで、手痛いボギーを喫し、前半36ホールで8アンダー、2位の丸山に6打差をつけて後半に進出したものの逆転された。丸山は過去3年、9位、3位、2位と着実にランクを上げ、今年、待望の優勝を遂げた。

「短いパットを外してカッコしないように、当初は2位狙いでプレーした。そのうち少しずつ差がちかまりましたけど、どうにか「勝負」らしくなると感じただけで、最後まで勝るとは思いませんでした。勝った、と思ったのは最後のパット（約60センチ）を入れた時です」

というのが丸山の試合後の談話だった。一方、敗軍の将阪田は言葉少なに

「今日（最終日、36ホール）は1日中、リズムに乗れませんでした。40歳の声を聞くと、1日36ホールは少々きついですね」

むしろ淡々として語っていた。以下、詳しい戦評は省く。

見えざるエチケット違反者

昨年の同観戦記にも書いたことだが、今年も改めて注意してみたところ、やはりバンカーの砂がならされていなかった。くまなく点検したわけではないが、最終組に同行して、最終の18ホールを観戦しながら、ふと、気をつけてみると、5番のグリーン左サイドのバンカーなど数えただけでも10以上の靴跡が残っていた。14番のグリーン左、16番のフェアウェイ左のバンカーにもかなりのスパイク跡が残っていた。チャンピオンシップの、それも決勝大会にクオリファイするほどのプレーヤーが、初歩的なエチケットですら行っていないのである。はたして誰が「見えざるエチケット違反者」なのか、この場では糾明しようにも、糾明しかねるが、心当りのある人はいるはずである。ここに昨年にひきつづき猛省をうながしたい。機会あれば来年も見届けたいと思う。

平成元年度 関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技成績表

参加者 168名

順位	選手名	所属	第1ラウンド アウトイン計	第2ラウンド アウトイン計	第3ラウンド アウトイン計	第4ラウンド アウトイン計	合計
1	丸山 茂樹	土 浦	35 34 69	36 37 73	40 36 76	36 35 71	289
2	阪田 哲男	袖ヶ浦	35 34 69	33 34 67	40 39 79	38 37 75	290
3	福越栄治郎	相模原	37 35 72	40 36 76	36 37 73	35 36 71	292
4	室伏 健二	東 名	37 36 73	36 39 75	38 35 73	37 35 72	293
5	中野 弘治	茨 吾	35 38 73	37 38 75	36 41 77	35 35 70	295
5	和田 博	東京五日市	36 34 70	42 36 78	38 37 75	37 35 72	295
7	室野 少	新千葉	36 37 73	40 36 76	37 35 72	38 37 75	296
7	高延 通康	茨 城	35 36 71	37 38 75	37 36 73	38 39 77	296
9	加藤 一彦	千 葉	36 37 73	41 38 79	37 37 74	34 37 71	297
9	福田 徳康	御 殿 場	38 34 72	38 42 80	37 38 75	34 36 70	297
11	太田 再勇	大相模	39 39 78	35 38 73	37 38 75	35 37 72	298
12	福永 俊男	千 葉	39 40 79	36 36 72	39 35 74	38 36 74	299
13	鹿澤 一郎	セントラル	38 38 76	37 39 76	39 37 76	37 35 72	300
14	岡田 光史	パブリック協	38 36 74	41 38 80	37 36 73	37 37 74	301
14	石田 弘光	中 山	36 37 73	39 35 74	38 39 77	39 38 77	301
14	大竹 徹	高 槻	35 36 71	37 38 75	41 37 78	36 41 77	301
17	大友 富雄	塩 原	39 37 76	39 36 75	39 37 76	38 37 75	302
17	坂野 耕一	かながわオープン	37 42 79	34 38 72	38 38 76	38 37 75	302
17	宮本 清	小 川	38 36 74	39 37 76	39 39 78	35 39 74	302
17	和田 雅夫	東京五日市	37 38 75	38 37 75	38 37 75	42 35 77	302
17	浅川 辰彦	武 蔵	40 38 78	40 36 76	38 37 75	37 36 73	302
17	宮 辰夫	習 志 野	38 38 76	36 37 73	38 37 75	38 40 78	302
17	秋山 市朗	大熱海国際	34 38 72	36 38 74	38 38 76	42 38 80	302
24	亀ヶ谷 修	東名厚木	40 37 77	39 38 77	38 36 74	37 38 75	303
24	杉沢五郎	専 修 大	38 38 76	39 37 76	36 37 73	39 39 78	303
26	小川 透	同部チサン	37 38 75	41 37 78	36 38 74	40 37 77	304
26	安閑 肇治	成田スプリングス	37 37 74	36 42 78	39 38 77	36 39 75	304
38	北島 泰介	鳥 山 城	37 40 77	37 37 74	37 38 75	40 39 79	305
28	日下部光隆	神奈川アマ	38 38 76	38 40 78	39 35 74	36 41 77	305
28	山内 健司	立 教 大	42 36 78	39 36 75	38 37 75	36 41 77	305
31	深堀圭一郎	新千葉	36 38 74	39 38 77	39 37 76	41 38 79	306
31	柳橋 一之	扶 桑	39 35 74	41 36 77	38 38 76	39 40 79	306
31	根本 太清	水 戸	39 38 77	35 38 73	42 38 80	40 36 76	306
31	石井 直人	富士平原	38 39 77	40 37 77	43 35 78	36 38 74	306
31	阿部 恭博	伊豆にらやま	38 36 74	36 37 73	42 40 82	40 37 77	306
31	加藤 雅成	関東ジュニア	35 39 74	41 37 78	38 36 74	39 41 80	306
37	福永 和宏	専 修 大	41 38 79	36 37 73	37 39 76	39 40 79	307
37	吉田 光男	湘南シード	39 37 76	40 34 74	41 38 79	40 38 78	307
37	佐藤 貴士	日 立	38 39 77	39 39 78	39 35 74	42 36 78	307
37	小久保武夫	藤 岡	40 34 74	38 38 76	41 38 79	38 40 78	307
37	高橋 克己	武 蔵 野	37 37 74	38 41 79	40 37 77	38 39 77	307
42	堤 久夫	川 越	37 38 75	36 39 75	41 40 81	39 38 77	308
42	金子 光規	相模原	35 39 74	38 36 74	43 39 82	38 40 78	308
42	亀井 隆	唐 沢	40 38 78	37 38 75	37 39 76	39 40 79	308
45	中村 清	水 戸	38 38 76	40 39 79	41 38 79	37 38 75	309
45	武田 信之	結ヶ崎	39 38 77	37 41 78	39 39 78	37 39 76	309
45	田辺 勝海	太田双葉	38 37 75	41 36 77	40 38 78	39 40 79	309
45	岩本 健二	専 修 大	40 38 78	39 38 77	39 39 78	40 36 76	309
45	岡田 光正	嵐 山	37 38 75	41 38 79	41 38 79	38 38 76	309
45	原 融雄	東名厚木	37 37 74	41 38 79	39 40 79	40 37 77	309
45	下向 英一	新千葉	40 38 78	39 36 75	39 39 78	36 42 78	309
45	山口 規樹	武 蔵	37 36 73	41 38 79	40 41 81	39 37 76	309
53	沼田 正巳	養 野	38 39 77	40 38 78	38 39 77	40 38 78	310
53	松山英一郎	上毛森林	39 37 76	40 38 78	36 43 79	38 39 77	310
55	山内 善正	鴻 巣	39 36 75	40 40 80	37 37 74	43 39 82	311
55	羽田野淳一	葉山国際	43 36 79	37 38 75	39 39 78	43 36 79	311
57	榎本 隆	相 武	38 39 77	40 35 75	37 39 76	41 43 84	312
57	佐々木善松	伊香保国際	40 35 75	41 39 80	40 38 78	38 41 79	312
57	嶋田 善人	青 梅	39 38 77	38 37 75	40 36 76	45 39 84	312
60	杉田 努	GMG八王子	39 38 77	38 39 77	40 40 80	40 39 79	313
61	佐野 義則	富士宮	40 36 76	39 36 75	40 43 83	37 43 80	314
61	染谷 健市	扶 桑	36 35 71	40 42 82	38 44 82	38 41 79	314
63	関 大介	神奈川アマ	38 42 80	36 39 75	36 40 76	45 39 84	315
63	田代 昌義	新千葉	38 38 76	37 42 79	39 42 81	42 37 79	315
65	野々下 徳	栃 木	40 37 77	38 40 78	41 42 83	38 40 78	316
65	石井 孝一	上総富士	39 40 79	37 39 76	41 41 82	41 38 79	316
65	白井 正剛	新千葉	38 34 72	39 37 76	40 41 81	44 43 87	316
68	白 源正	大新湯三桑	36 40 76	38 40 78	38 41 79	44 42 86	319
68	上代 修二	中 山	38 38 76	38 41 79	45 39 84	41 39 80	319
70	阿部 達夫	浦 和	39 37 76	38 38 76	43 42 85	42 41 83	320
71	大河原敏克	鶴ヶ島	36 38 74	40 40 80	46 41 87	43 44 87	328
	足立 智明	新千葉 養 野					

●予選メダリスト 第1ブロック 平本桂樹（大相模） 第2ブロック 宮本憲治（日体大） 第3ブロック 秋山市朗（大熱海国際）
第4ブロック 本田昌之（塩原） 第5ブロック 白井敏夫（結武） 第6ブロック 佐藤貴士（日立）

平成元年度 関東倶楽部対抗予選競技成績表

18 ホール・ストロークプレー(参加 234 チーム・1872 名)

平成元年 5月24・25・26・29・30・31、6月1・2・5日、昭和63年 9月20日(新潟)

地区別 順位	東 京 (武蔵野)	埼 玉 (武蔵・笹井)	千葉第1 (千葉夷隅)	千葉第2 (千葉廣済堂)	神 奈 川 (レインボー)	茨城第1 (フレンドシップ)
1	立川国際 465	武蔵 471	習志野 464	中山 468	東名厚木 467	セントラル 460
2	武蔵野 478	嵐山 477	袖ヶ浦 472	総武 469	大相模 469	扶桑 462
3	八王子 481	熊谷 479	南総 487	新千葉 471	相模原 471	富士・笠間 465
4	桜ヶ丘 484	高根 479	千葉国際 488	千葉 473	戸塚 474	桜 480
5	東京国際 485	日高 480	鶴舞 488	姉ヶ崎 474	中津川 477	取手国際 482
6	多摩 486	川越 480	我孫子 490	八幡 476	横浜 482	霞台 482
7	東京よみうり 486	岡部チサン 481	南千葉 497	藤ヶ谷 477	伊勢原 484	筑波 483
8	青梅 487	東京 484	真名 499	銚子 482	湘南シーサイド 486	穴戸国際 483
9	GMG八王子 490	廣済堂埼玉 486	木更津 500	船橋 485	磯子 488	日立 483
10	東京五都市 495	浦和 489	鷹之台 502	成田スプリングス 487	レインボー 488	霞ヶ浦出島 484
11	府中 498	飯能 490	加茂 504	京葉国際 488	平塚富士見 488	フレンドシップ 489
12	小金井 498	鴻巣 491	鹿野山 506	千葉廣済堂 492	秦野 491	茨城 489
13	相武 508	霞ヶ関 492	千葉スプリングス 508	一の宮 493	葉山国際 491	ザ・レイクス 507
14	赤羽 518	東松山 493	千葉新日本 512	国際空港 495	小田原・松田 492	ダイヤグリーン 517
15		高坂 493	上総富士 512	長太郎 497	湯河原 492	
16		越生 496	本千葉 512	房総 501	小田原湯本 492	
17		入間 497	紫 515	鎌ヶ谷 503	川崎国際 492	
18		狭山 497	御茶ノ水 515	東京湾 505	大厚木 499	
19		ユニオンエース 502	エンゼル 520	柏 506	大妻野 503	
20		秩父国際 510	東千葉 522	長南 512	津久井湖 518	
21		ノーザン鶴ヶ原 511				
22		飯能パーク 518				
個人1位	鹿島威二 (立川国際)	梶久夫 (川越)	鈴木軍治 (袖ヶ浦)	長島雄一郎 (新千葉)	大野光雄 (大相模)	矢嶋辰昭 (扶桑)
A	75	76	73	73	73	71
B	安藤謙治 (八王子)	山内善正 (鴻巣)	村田良一 (習志野)	安藤正 (銚子)	平本桂樹 (大相模)	鹿窪茂 (セントラル)
	71	74	71	71	72	70

茨城第2 (茨城バシフィック)	栃木第1 (鹿沼72)	栃木第2 (嵐月)	群 馬 (美野原)	静 岡 (朝霧ジャンボリー)	長 野 (サニー)	新 潟 (紫雲)
アジア下館 503	那須チサン 464	宇都宮 472	美野原 476	東名 471	長野国際 478	紫雲 473
水戸グリーン 504	都賀 468	杉ノ郷 473	太田双葉 478	大熱海国際 472	信州丸ノ高原 481	日本海 478
水戸 507	鹿沼 471	那須小川 474	藤岡 478	南箱根 481	松本 482	新津 488
白帆 508	芳賀 471	広陵 476	上毛森林 478	朝霧ジャンボリー 484	長野 482	上越国際十日町 492
東筑波 512	紫塚 471	塩原 484	桐生 480	豊岡国際 484	穂高 483	長岡 493
江戸崎 513	鹿沼72 472	東宇都宮 486	伊香保国際 481	静岡・袋井 486	信州駒ヶ根 487	笹神五頭 494
茨城バシフィック 515	あさひヶ丘 476	下野 486	伊香保 485	伊豆にらやま 487	諏訪湖 492	新潟湯 498
龍ヶ崎 516	矢板 480	足利 486	草津 486	富士 488	望月 496	大新潟・三条 499
土浦 516	佐野 480	大平台 487	ロイヤルオーク 490	御殿場 488	千曲高原 500	フォレスト 504
大洗 526	鳥山城 480	皐月・佐野 487	赤城国際 491	富士チサン 490	川中嶋 501	湯田上 509
常陽 533	日光 485	唐沢 489	妙義スプリングス 493	愛鷹 494	信州塩嶺 506	松ヶ峯 510
那珂 535	宇都宮国際 492	嵐月 493	高崎 KG 500	静岡・浜岡 496	三井の森サニー 506	上越国際・米山 515
浅見 535	鶴 492	鬼怒川 497	甘楽 502	浜松サーサイド 496	サニー 510	津川 520
麻生 548	皆川城 494	栃木 497	鳳凰 512	天城につかつ 496	ヴィラ夢村 519	大新潟・出雲崎 521
	南摩城 494	関東国際 499	関越ハイランド 513	函南 496	佐久平 525	妙高 523
	千成 498	皐月・鹿沼 505	上毛高原 513	富士平原 499		湯沢 530
	新宇都宮 499	藤和那須 507	サンコー 513	藤枝 500		石打後樂園 551
	チサン黒羽 529	栃の木 509	ノーザン群馬 514	富士小山 501		
			群馬 517	伊東 502		
			月夜野 542	菊川 509		
				静岡・島田 510		
				太陽 518		
平野正義 (水戸グリーン)	伊澤安雄 (矢板)	宮下正史 (杉ノ郷)	北野浩司郎 (上毛森林)	佐々木喜堂 (大熱海国際)	渡辺勇 (長野国際)	浅野博喜 (紫雲)
79	73	77	74	76	75	76
根本太清 (水戸)	渡辺健雄 (那須チサン)	新津淳 (広陵)	川崎賢治 (伊香保)	成田朋正 (豊岡国際)	黒岩護 (長野)	山宮秀一 (湯田上)
77	69	73	74	75	75	73

平成元年度 関東倶楽部対抗決勝競技

●開催コース 大利根カントリークラブ Aクラス 東コース7,024 ヤード(ペント)パー72

●開催日 6月26日 Bクラス 西コース7,065 ヤード(ペント)パー72

ルポ・宮元昭雄(KGA広報委員)
写真・舟橋一芳(KGA広報委員)



優勝チーム セントラルのうれしそうな顔々

モト一は、「呉越同舟、和気藹々」 —セントラルゴルフクラブ2度目の優勝—

倶楽部対抗はアマチュア・ゴルフの祭典である。

平成元年度決勝大会は、6月26日、茨城県大利根カントリークラブの東西の両コースを使用して行われた。今年度の栄冠はセントラルゴルフクラブに輝いた。

今年は各チーム実力伯仲

登録選手数は実に4,500名にのぼり、13ブロックに分かれてこの地区予選は234チーム、1,872名の選手によって争われた。これを勝ち抜いた強豪36チームによるチーム戦は、近年まれに見る大激戦となり、早朝から応援にかけつけた各チームの関係者達を一喜一憂させていた。

今年は戦前から接戦が予想された。常勝千葉カントリーの予選落ち、各ブロックとも新旧交替が目立ち、殆どの地区大会で前年度の代表チームが入れ替っていた。どのチームが勝っても不思議でない、と言われるほど、実力は伯仲していた。それだけに、関係者達の興奮は、いやがうえにもたかまつた。

優勝を果たしたセントラルは、昭和55年度の(於相模原)優勝に次いで、2度目の快挙である。昨年は惜しくも決勝進出ならず今年こそは……という、西野理事長の執念が通じたことになる。同氏は早朝から陣頭指揮しそれに刺激されたか、各選手の善戦が目立った。特にA.Bクラスでの鹿窪兄弟がメダリストとなるなど、2位沼志野に10ストロークの差をつけて逃げ切った。

沼志野もチーム一丸となつての善戦だった。

各ホールにはトランシーバーを持った連絡員を張りつけ、自軍選手のスコアの内容を本部に知らせ、時に叱咤、時に激励しながら、全員の志気を鼓舞するという倶楽部

対抗ならではの応援ぶりだった。KGA結成の起源をなす、この大会のもつ意義と価値を改めて印象づけられたものだ。

袖ヶ浦は7位に甘んじたが、戦前から同チームの野本キャプテンは「今年は実力のある選手より練習熱心な選手を戦列に加えたから、勝機は半々だ。勝つことも大切だが、クラブ・ライフということ考えれば、多くの選手の中からこうした選び方をするのもひとつの方法だと思っている」とのことであった。あとは運にまかせると言わんばかり、いつもの快気炎は見られなかった。

注目されたのは総武グループだった。4ブロックに参加して、その内3ブロックからの決勝進出をはたした。総武、中山、武蔵野3倶楽部とも理事長をつとめる小宮山義孝氏は、各チームを激励して回りながら、「なんとか上位に行ければ……」と汗を拭きながらの応援にも力が入る。倶楽部対抗の名門と言われた中山チームが、久しぶりに参戦したが、一息及ばず、「来年は頑張るぞ」と選手一人一人にその労を称えていたのが印象的だった。

3位の武蔵、4位立川国際、5位大相模といまひとつポイントが不足したが、太田双葉の6位入賞は見事である。中盤には各選手のスコアが伸びて、若しかして……と期待をもたせてくれた。

前年度の覇者東名厚木は、全体的に伸び切れず10位。地元大利根も有利さを買われて、ダーク・ホースとして目されていたが、上位進出はならなかった。

兄弟でメダリスト

個人的にはBクラスのメダリストとなった鹿窪茂選手の69のスコアは、見事と言えよう。前半33で回り、バックナインに入つてのプレッシャーをはねのけて、イーブンの36が、同チームの優勝に大きく貢献した。

69はこのコースでの1976年度の倶楽部対抗決勝の際阪田哲男選手(袖ヶ浦)が出したスコアと、タイ・スコアであることも附記しておこう。

開場30年目を迎えた名門大利根のコースは、見事な整備でパーフェクトな状態だった。いづれの選手も、グリーンへの難しさを口にしてはいたが、グリーンを張り替えて、今年3年目、コース管理者の努力によって、芝つきといい、フェアウェイやラフに至るまで行届いた整備は、すべての関係者も驚嘆していた。とくに3mmのダブルクロスに刈ったグリーンへの速さには、各選手とも戸惑ったに

違いない。「これがグリーンだ」と言わんばかりの素晴らしい状況でプレーが出来たことは、選手冥利につきるといってもよからう。和やかなパーティーの席では、早くも来年の夢を語り合っていた。その和気藹々の風景の中に、ゴルフ界全体の発展の姿を想像することが出来たような気がした。

10年目の曲がり角

ひと言、率直な感想をつけ加えるとすれば、年々ふくれ上る参加チームと、これを一堂に集めて開催する本大会の在り方について、昨今各地でさまざまな意見が出ていることを記したい。

昨年度は34チーム、272名の決勝参加数であったが、今年度は36チーム、288名である。この数は増えることがあっても減ることはあるまい。

現実にはこれらの大選手団を迎えて開催するとすると、コースの規模は36ホールが絶対条件であり、クラブハウスはもとより、駐車場や練習場など、すべての点で施設的に余裕のある倶楽部でないとなれば、開催が不可能である。

もちろん、開催地の地理的条件などを考えれば、遠隔地より東京の近郊がよりベターとされるが、これらの条件を具備しているコースともなると自と限定されてしまう。

具体例を食堂で見てみよう。個人のプレーヤーの対応なら、さほど苦みにならない食堂係の人達にとっても、倶楽部対抗となると早朝から各チームに対する配膳に、大変な気配りと時間的制限が必要となる。団体で一斉に入場され、大声で朝食を求めるとあちらこちらからかかっていた。ゴルフファアとして一寸品性を欠くのでは、と思いましたが、受け入れる側の人たちに大変な負担となっていることを痛感させられた。

もうひとつの問題点は、古いコースでこれまで常時出場していたチームが、選手不足で出場を辞退したというケースが生じたことだ。

現行のA.B(50歳以上をAクラス、以下をBクラスと分けたA.B各3名のポイント制)両クラスによる競技方式が、取り入れられた直接の目的は、選手の平均年齢が高くなり、若い選手層が薄くなったため、当時は画期的と言われたものだ。しかしこのA.B方式も、ここに来て新たな壁にぶち当たった感があるのである。

確かに現在のように会員権が5,000万円以上あるは億単位の倶楽部もある中で若い人達が、会員権を購入してメンバーになることは難しいと言わざるを得ない。

当時の平均年齢から見て、Aクラスと言われる50歳以上の選手層は、60を過ぎた者が多く、Aの選手はいてもBの選手を選ぶのに苦慮する倶楽部がふえている。そうなる



スコアボード前では一喜一憂

とやむを得ず出場辞退という残念なことになってしまう。

一部の倶楽部を例をとって大変申し訳ないが、程ヶ谷カントリー倶楽部は平均年齢72.5歳という。相模や霞ヶ関でも63歳前後に平均年齢が上がっていると思う。前述のように会員権が高額のところでは、益々若い人達の入会は困難となり、平均年齢はアップすることになる。

倶楽部対抗の本質とは一体何だろうか?とここで改めて考えてみる時期に来ているように思えるのである。本年度の決勝大会の閉会式で中井KGA副理事長は「大会は親善を第一の目的とし、勝負にあまりこだわらないでアマチュアらしく、倶楽部の代表選手として、模範となるゴルフファアになっていただきたい」と挨拶をした。

確かに倶楽部対抗に出場する選手は、殆どその倶楽部のトップ・プレーヤー達である。誰もが名誉と誇りをかけて、この競技に参加することを目的にして、年間を通して研修しているコースが大半であろう。

規定は時によっては変更されて然るべきものである。やはり、これだけ参加者が増大し、やがて400チームも参加する時代が来た時は、各県はもとより、決勝大会の運営など現状のままでは不可能に近い状況になることも考えねばなるまい。

第一の目的が親善なら、県別大会の域でその目的は充分果たされているわけだから、県ブロック大会の出場基準を考へることによって、古いコースも新しいコースも参加出来るように検討し直してもよいのではないかとこの意見もあった。

県の優勝、準優勝チームが決勝に参戦するという方式もあろう。

要は出場選手の年齢基準をどう区分けするかということや、ポイントの加算方式を併せて改めて関係者は研究をして貰いたいものだと思う。

メダリスト候補と言われた阪田選手が、「倶楽部対抗競技ほど楽しいものはない」と大会終了後その実感を洩らしていたが、その一言に、この競技の持つ人気の秘密があることを知らされた一日であった。

平成元年度 関東倶楽部対抗決勝競技成績表

優勝 セントラルゴルフクラブ 得点454

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the winning team and their scores.

(チーム平均ストローク: 77.38)

2位 習志野カントリークラブ 得点464

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the second-place team.

(チーム平均ストローク: 78.75)

3位 武蔵カントリークラブ 得点465

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the third-place team.

(チーム平均ストローク: 79.13)

4位 立川国際カントリー倶楽部 得点468

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the fourth-place team.

(チーム平均ストローク: 79.75)

5位 大相模カントリークラブ 得点469

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the fifth-place team.

(チーム平均ストローク: 79.38)

6位 太田双葉カントリークラブ 得点469

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the sixth-place team.

(チーム平均ストローク: 80.13)

7位 袖ヶ浦カントリークラブ 得点470

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the seventh-place team.

(チーム平均ストローク: 79.50)

8位 藤岡ゴルフ倶楽部 得点471

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the eighth-place team.

(チーム平均ストローク: 79.25)

9位 宇都宮カントリークラブ 得点472

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the ninth-place team.

(チーム平均ストローク: 79.75)

10位 東名厚木カントリー倶楽部 得点473

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the tenth-place team.

(チーム平均ストローク: 79.75)

11位 大相模カントリークラブ 得点473

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the eleventh-place team.

(チーム平均ストローク: 79.63)

12位 扶桑カントリー倶楽部 得点474

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the twelfth-place team.

(チーム平均ストローク: 80.75)

13位 新千葉カントリー倶楽部 得点475

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the thirteenth-place team.

(チーム平均ストローク: 80.13)

14位 総武カントリークラブ 得点475

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the fourteenth-place team.

(チーム平均ストローク: 80.88)

15位 中山カントリークラブ 得点475

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the fifteenth-place team.

(チーム平均ストローク: 80.25)

16位 東名カントリークラブ 得点475

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the sixteenth-place team.

(チーム平均ストローク: 80.38)

17位 相模原ゴルフクラブ 得点477

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the seventeenth-place team.

(チーム平均ストローク: 81.13)

18位 嵐山カントリークラブ 得点478

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the eighteenth-place team.

(チーム平均ストローク: 81.00)

<Aクラスメダリスト> 鹿窪一郎(セントラル)73(37・36)

加部嗣男(東名)73(36・37)

<Bクラスメダリスト> 鹿窪 茂(セントラル)69(36・33)

19位 大熱海国際ゴルフクラブ 得点478

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the nineteenth-place team.

(チーム平均ストローク: 81.38)

20位 水戸グリーンカントリークラブ 得点478

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the twentieth-place team.

(チーム平均ストローク: 81.25)

21位 アジア下館カントリー倶楽部 得点479

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the twenty-first-place team.

(チーム平均ストローク: 80.25)

22位 美野原カントリークラブ 得点483

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the twenty-second-place team.

(チーム平均ストローク: 82.38)

23位 日本海カントリークラブ 得点486

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the twenty-third-place team.

(チーム平均ストローク: 82.63)

24位 武蔵野ゴルフクラブ 得点487

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the twenty-fourth-place team.

(チーム平均ストローク: 82.13)

25位 鹿沼カントリー倶楽部 得点487

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the twenty-fifth-place team.

(チーム平均ストローク: 83.00)

26位 那須テサンカントリークラブ 得点487

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the twenty-sixth-place team.

(チーム平均ストローク: 83.25)

27位 熊谷ゴルフクラブ 得点488

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the twenty-seventh-place team.

(チーム平均ストローク: 82.63)

28位 南総カントリークラブ 得点488

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the twenty-eighth-place team.

(チーム平均ストローク: 82.25)

29位 南箱根ゴルフ倶楽部 得点489

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the twenty-ninth-place team.

(チーム平均ストローク: 83.13)

30位 都賀カントリー倶楽部 得点490

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the thirtieth-place team.

(チーム平均ストローク: 82.75)

31位 杉ノ郷カントリークラブ 得点492

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the thirty-first-place team.

(チーム平均ストローク: 84.25)

32位 雲雲ゴルフ倶楽部 得点494

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the thirty-second-place team.

(チーム平均ストローク: 83.63)

33位 都賀小川ゴルフクラブ 得点496

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the thirty-third-place team.

(チーム平均ストローク: 83.88)

34位 長野国際カントリークラブ 得点504

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the thirty-fourth-place team.

(チーム平均ストローク: 85.00)

35位 グランステージC.C.九子コース 得点507

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the thirty-fifth-place team.

(チーム平均ストローク: 87.25)

36位 新井カントリークラブ 得点509

Table with 5 columns: クラス, 氏名, アウト, イン, 合計, 順位. Lists members of the thirty-sixth-place team.

(チーム平均ストローク: 86.13)

—JGAハンディキャップは今—(2)

“新しい名門倶楽部”を目指して

境川カントリー倶楽部

ルポ・KGA広報委員 宮元昭雄

KGAハンディキャップ委員会は、本年度の指導目標として、JGAハンディキャップシステムの実質的運用の指導強化と、その内容充実を第一に挙げている。

新しいシステムが採用されて、はや10年の歳月が過ぎたが、これまで様々な問題が惹起した。

しかし、ここにきてようやく加盟倶楽部の理解も深まり、積極的に対応するところが多くなってきた。このことは、関係者の努力は当然とはいえ、その背景にゴルフファン自身のHdcpというものに対する認識が高まってきた、という事実を裏付けるものである。

ハンディキャップへの意識は変わりつつある

かつてのHdcpは名誉段位的な意味合いが強かった。しかし、その意識も薄れつつある。また、倶楽部運営も一部の理事達の考え方もあって、会員の意向を抑えつけることは、大変難しくなっている。

一方、ゴルフ・ブームは過熱の一途をたどっている。某新聞の大手企業社員のレジャー志向調査によると、男子社員の4割強がゴルフを趣味としており、心身のリフレッシュだけでなく、交遊を広げる機会として、レジャー・スポーツのトップ人気にある。また、ニュートレンド人間を自負する若者達の間でも、今やゴルフ熱は男女を問わず盛んである。

本格的な余暇時代に入り、一層ゴルフファンの急増は勢いづくだろう。

そうなると、当然のことながら互いに適正なHdcpのもとで、仲間同士でスコアを競い合ったりすることに、限らないゴルフのおもしろさを感じるようになる。その意味でもHdcpの持つ意義は極めて大きく、ますますHdcpの重要性が増してくる。かつてHdcp



分科委員の皆さん

はゴルフファンにとって、勲章のようなものであった。だから、ゴルフファンとしてのステータスを示し、権威の象徴でもあった。しかし、今や単なるゴルフの条件のひとつに変わりつつある。

この企画の狙いは、Hdcpの本質に触れながら、今もって根強い不信感、疑問点などについてありのままに取り上げる。そして、未実施倶楽部が皆無になることが目的である。第一回から早くも様々な反響が寄せられた。このことは、実施、未実施にかかわらず、加盟倶楽部間において関心度が高まってきていることの証明といえる。

クラブ・ライフの基本はハンディキャップにあり

今回は開場間もない山梨県の境川カントリー倶楽部を訪ねてみた。

会員数、個人1,100名、法人250社(記名)、開場が昭和62年5月23日、メンバーは地元が約20%、東京など県外が約80%という比率になっている。

ゴルフ場の環境は、甲府盆地を一望におさめ、西に南アルプス、北に八ヶ岳、東に秩父連峰を眺望出来る丘陵コースである。また、葡萄や桃の木などが、コース内に植栽されており、花や香りを満喫しながら

プレーを楽しむことが出来るという。

コース環境はこれに素晴らしい。そこで、問題の倶楽部運営である。

運営の重要な役割を果たすのは各分科委員会であるが、その選出方法が面白い。名前やカタ書より、来場度数と、“倶楽部に注文の多い人”から選んだという。インタビューに応じてくれたHdcp委員の2名(藤田、桐林氏)も、ご多分にもれずうさそうなメンバーであった。二人とも倶楽部の役員諸氏の「会員が誇りの持てる倶楽部に育てたい」の一言に賛同して委員をひきうけたという。

しかし、“儲ければ良い”という経営者の姿勢が強ければ、それは募集パンフレットの美辞麗句で終わってしまう。高額の入会金を支払ってメンバーになった人達の不平や不満が高まり、メンバーシップによるゴルフ倶楽部本来の姿はそこに存在しなくなってしまふ。

境川の石原常務は「新しいコースだけに、いかにして歴史のある名門コースといわれる倶楽部に追いつくか、そのためには何かが必要か、真剣に考えた。ハウスやコースの整備は勿論である。従業員の礼儀、会員相互の親睦を図ることも急務である。しかし、ゴルフ場として、もっとも基本的なことは、コース・レートをとること、そして、メンバーのHdcpを決めること」という。

鉄は熱いうちに打て

かつてスポーツニッポン新聞社に身を置いたことのある同氏にはゴルフ界の知人が多く、いろいろア



ハンディキャップボードは今のところ開放とし

ドバイスを受けた。「会員の為のゴルフ場」作りに努力している。

篠原支配人も「来年は開場3年目にあたる。コース・レートも取得したので、これで年内に全会員のHdcpが決まり、倶楽部競技なども開催できれば、ようやくクラブライフも軌道に乗る」と語る。

藤田、桐林両Hdcp委員は「新しいゴルフ場は建前ではクラブライフを云々するが、実際のところ委員会があっても有名無実のところが多いのでは。なかでもHdcp委員会は手間ヒマばかりかかるので、冷遇されているようだ。前向きに取り組んでいるところは少ないではありませんか。だからHdcp委員会活動を積極的に行うことにより、会員の意思を理事、会社役員に伝える必要があるのです。クラブライフにとってHdcpは基本です」と抱負を語ってくれた。確かに何事によらず、新しく組織されたものをパーフェクトに運営されるようにもっていくことは大変至難である。

しかし、“鉄は熱いうちに打て”で新しいうちにこそルールを決め、その姿勢を明確にうち出すことが大切だ。

組織はリーダー次第である。その考え方、統率力によって全体の型や内容も大きく変わる。

要はHdcp問題にしろ、何であれ、その倶楽部の代表者、理事、委員の意欲と問題である。世の名門コースといわれるところの歴史をたどれば、そのことは歴然としている。

“新しい名門”を目指すこの倶楽部の今後に期待したい。

どの倶楽部にもそれなりのお家の事情はあろう。だからといって、各々の倶楽部が身勝手なことをやっていたのではゴルフ界全体の秩序は維持できない。ようやくKGA加盟倶楽部の8割強のコースがJGAの新しいシステムを採用しているが、未実施倶楽部の中にはかなりの名の通ったところもある。次回からは、そんな倶楽部の云分をきいてみたい。

新規加盟倶楽部紹介

真理谷カントリー倶楽部



1. 倶楽部名 真理谷カントリー倶楽部
住所 千葉県木更津市真理谷2667
電話 0438-53-5566
2. 開場年月日 昭和63年4月1日
3. 理事長名 高橋 政知 大正2年9月4日生
倶楽部代表者 高橋 政知 秋葉 義弥
4. 倶楽部分科委員長名
エチケット・フェローシップ委員長 隈野慎一郎
競技委員長 小林 利雄
ハンディキャップ委員長 安田 隆一
5. 支配人名 深山 義一 昭和21年7月15日生
6. 倶楽部概要

当倶楽部は、昭和63年4月1日に開場いたしました。このコースは、アメリカのコース設計家、ピート・ダイ氏による我国で最初のコースとして情熱を注ぎ、自信を持って完成したコースであります。開場以来、入場者を制限し、一貫してコースのメンテナンスを重視しております。メンテナンスには、彼のスタッフが常駐し、総指揮をとっています。

名物ホールはINコース17番ホールで、アイランドグリーンになっています。これは設計者の自信作です。ミスショットにはペナルティを、という姿勢。まさにターゲットゴルフの真髄と言えるのではないのでしょうか。

ベルエアカントリークラブ



1. 倶楽部名 ベルエアカントリークラブ
住所 群馬県群馬郡榛名町中室田3801
電話 0273-74-1111
2. 開場年月日 昭和63年3月2日
3. 理事長名 河村 良彦 大正13年9月21日
倶楽部代表者 河村 良彦 相山 武夫

4. 倶楽部分科委員長名 (未定)
5. 支配人名 瀬戸 明 昭和19年11月11日
6. 倶楽部概要

上州のやま山麓に広がる榛名町は、里見梨や梅、桃、椎茸などの産地として古来関東に有名です。

当ゴルフ場は、名前のとうり空気が美しく、天然の地形と雄大な浅間、妙義、南アルプスの遠望は見ものです。フラットなコースレイアウトの18ホールは111万平米の広大な丘陵に、ゆったりとした贅沢な設計を盛り込みました。各コースとも樹齢100年に近い赤松の巨木をとり混ぜた檜杉林ではつきりとセパレートされた、格調の高いチャンピオンコースです。

コースは丘陵南面の温暖な斜面を利用しており、降雪も少なく、通年プレーが可能で、グリーンは、ワングリーンの傑作、改良されたベントグリーンで、平均700~800㎡の思い切った広さを採用しています。クラブハウスは、周囲の絶景とコースに調和したキュービックスタイルで風格あるベージュ色2階建2棟、内部のメンパルルーム、浴室等もゴージャスに整えてあります。

付属施設「ホテルグリーンヒル榛名」は、一泊ゴルフには格好の19番ホール。一流和洋融合ホテルとして、和洋食、ワインの料理も絶品、遠来客の利用も急増中です。

交通は、高崎、前橋市内から車で約30分、関越道の高崎、前橋IC経由なら都心から約90分、日帰り十分プレーも楽しめます。数年後には北陸新幹線の新駅が当倶楽部から車で10分の位置に誕生予定です。

つくばねカントリークラブ



1. 倶楽部名 つくばねカントリークラブ
住所 茨城県つくば市神郡2726
電話 0298-66-0224
2. 開場年月日 昭和49年2月11日
3. 理事長名 江戸 英雄 明治36年7月17日生
倶楽部代表者 江戸 英雄 島浦 精二
4. 倶楽部分科委員長名
競技・ルール委員長 島浦 精二
施設委員長 富松 規行
フェローシップ委員長 橋谷 亮助
5. 支配人名 浜名尚文 昭和14年3月15日生

新規加盟倶楽部紹介

6. 倶楽部概要

関東平野を一望できる、筑波山麓のゆるやかな南斜面の丘陵地に展開する18ホール。晴れた日には、霞が関のほか新宿の高層ビル、そのうしろに富士山を望むことのできる眺望は抜群。昭和49年に開場後10年を経て昭和58年よりコース改造5か年計画を実施してまいりました。各ホールのティグランドを拡張し、斜面を削ってフェアウェイを広くし、グリーンも設計家福井八十八先生に再設計を依頼しました。全グリーンはサンドグリーンへの改造も進み、改造5か年計画は昭和62年をもって終了しました。しかし、まだまだ目に付く箇所があるため、昭和63年度を第一年度とした「コース整備5か年計画」を立案し、現在その計画を推進中です。「緑豊かな花の多い庭園風なカントリークラブ」がプレイヤーの目の前に姿を現すのも、もうすぐそこまでとなっております。

倶楽部全体の雰囲気も、昔のままの素朴なイメージがそのまま、来場するプレイヤーの方々にも親しまれております。田舎風な味わいは、これからも残していきたいと思っております。

アウトの1番は、関東平野に向かって思っきりショットが楽しめます。インの各ホールでは「紫の山」男体・女体の筑波山を眼前に、特に18番ロングホールは、ゆるい打ち上げのホールを筑波山に向かって豪快にショットができます。グリーンは、開場当初より難しいといわれてきましたが、改造後もその難しさは変わりません。入路にも四季折々の草花を植栽しており、季節ごとの花を楽しめます。

常磐自動車道・土浦北ICより15km、25分、都心からでも約1時間15分程度の所要時間です。

訃報



故・武内俊三氏

当連盟副理事長 武内俊三氏には、7月7日午前6時、肝障害による呼吸不全のため、虎の門病院にてご逝去されました。享年71歳でした。

連盟における経歴は次記のとおりです。

昭和46年～55年	月例競技専門委員
48年～52年	競技委員
48年～57年	常務理事
53年～55年	競技副委員長
53年～56年	税対策委員
54年、55年	ハンディキャップ委員

56年～58年	広報委員長
56年	ハンディキャップ副委員長
56年、57年	競技委員
57年、58年	ハンディキャップ委員長
58年～平成元年	副理事長
58年、59年	コース選定副委員長
59年	競技委員長
59年～63年	入会審査委員長
60年～63年	コース選定委員長
平成元年	コース選定委員長

財団法人 日本ゴルフ協会 役員・委員経歴

昭和58年～59年	理事
60年～平成元年	常任理事
58年	ハンディキャップ委員長
59年～62年	競技委員長
60年～平成元年	広報委員長、コース選定委員長

63年～平成元年 会員入会審査委員長
永年にわたり、ゴルフ界の重鎮として活躍いただきました。とくにこの1、2年は、「ジュニア会員制度」確立のため、全力をそそいでおられました。ご遺族のお話では、病床にあっても絶えず、お気になさっていたとのことでございます。謹んで哀悼の意を表します。

分科委員会

平成元年度第1回競技委員会議事録

日時 平成元年4月3日(月)13時30分
場所 第一信金ホール 会議室
出席者 古賀委員長、河西、新井(昌)、新井(安)、山田(八)各副委員長、安藤、土井、平田、平山、市川、飯塚、川島、北村、小池、紅露、小山、楠木、三上、淡、野口、野本、大出、大久保、大島、折井、織戸、関谷、竹下、瀧野、田村、田辺、渡邊、山田(武)、山本、山崎(滋)、矢野、吉野各委員

討議及び決議事項

討議に先立ち、古賀委員長より、新井昌男、新井安寿、山田八郎の3氏が副委員長に就任した旨の報告がなされ、また今年度より、飯塚賢治、三上康次、竹下修一、山田武男、吉野統治5氏が就任したことの報告がなされた。

1. 元年度 活動方針

古賀委員長より次記の方針が示され、全員これを確認した。
「昨年に引き続き、大役をおおせつかったが、諸君に協力いただき、円滑な運営を期したい。各競技とも参加者の増加が予想される。公正なルールの通用はもちろん、アマチュアゴルフファアとしての向上にも留意してほしい。」

2. 班編成および班長の件

古賀委員長より、今年度の班編成及び班長、副班長の提案がなされ、全委員これを承認した。

3. 各競技競技委員長、副委員長の件

古賀委員長より、先日行われた、委員長副委員長会議において各競技担当委員長、副委員長が決定したことの報告がなされ、全委員これを承認した。

4. 連盟主催競技実施規定の件

元年度、主催競技のうち、倶楽部対抗は前年どおり、関東女子、関東アマについては、日本ゴルフ協会の参加資格HDCPの引き上げに伴い、女子20から18、男子9から8と変更することとなった。また関東アマは出場選手の増加が予想されるため、従来5ブロックから6ブロックと予選会場を増やした。

以上の委員長報告を、全委員承認した。

5. 各競技担当班の決定

古賀委員長より、競技別担当班提案がなされ、全委員これを承認した。

6. 競技細則について

ローカル・ルール原案、および競技管理基準については、日本ゴルフ協会制定のものを使用することとした。

以上審議を終了したのち、各班別に別

れ、打ち合わせを行った。

平成元年度第1回ハンディキャップ委員会議事録

日時 平成元年4月18日(火) 正午
場所 JGA会議室
出席者 福田委員長、渡邊副委員長、斎藤、安藤、服部、笠原、町田、三宅、宮元、関根、佃、鶴島、山田、山本、横内各委員

討議及び決議事項

議題審議に先立ち、福田委員長より、安達悠一・岡安功・植松和一氏が退任、服部真吾・笠原貞夫・関根宏一氏が新任されたことを報告、3氏が自己紹介した。

1. 今年度活動方針

福田委員長より、次記の方針が示され、全員これを確認した。
「昭和63年末現在の加盟倶楽部384のうち、JGAハンディキャップ実施倶楽部は321(83.5%)であった。この数字自体は喜ぶべきものであるが、その実施内容に目をむけると、いろいろ問題があるようだ。そこで今年度の活動は「内容の充実を図る」ことを目標の第一としたい。」

具体策として、

- ①アンケートにより実態調査を行う。
- ②その回答をもとに、具体的な指導を行う。
- ③各県で委員長会議を開始する。
- ④未実施倶楽部の解消に努める。

そのために、各県より選任された諸氏に一層の活動を要請、期待する。各県、各倶楽部の事情によって状況が異なり、このシステムに批判、意見のあることは承知している。しかし、実施以来10年の歳月をかけた、ようやくこまごまとりついたものであり、それなりに完成された方式である。諸氏のご協力、ご尽力をお願いする。

2. 第2回アンケートについて

事務局案に渡邊副委員長が手を加え、実施することを決定した。

3. 未実施倶楽部会員の競技参加について

事務局より次記の問題提起がなされた。
「関東女子、関東アマの出場選手(110名)のうち、未実施倶楽部の選手が208名もいる。ご承知のように出場資格を得るには、最近10ラウンドのスコアを倶楽部に提出し、査定申請用紙に記入、事務局に送付、担当者か計算し規定内のHdcpかどうか、チェックしている。問題は倶楽部記入事項に間違いの多いこと、そのために担当の時間、労力をさかなければならぬ。また5名以上の申し込み倶楽部が10倶楽部もあること等である(最高13人)。事務局として労を厭う意味でなく、倶楽部のHdcpに対する基本的な姿勢と

考えるので、改善方法を検討いただきたく、あえて提起した。」

上記の問題について、ハンディ、競技両委員長が話し合い、善後策を検討し、結論によっては理事会に上程することを確認した。

4. 自社コンピューターの査定について

事務局より次記の問題提起がなされた。「上記の方法で査定を行っている倶楽部の大半は、他倶楽部のコース・レート数値をインプットしていないと思われる。そうすると自倶楽部Hdcpを単にJGA・Hdcpの計算方法で行っているにすぎないことになる。これは基本方針にふれる問題である。」

上記の問題については、アンケート調査結果をみて善後策を講じることを確認した。

平成元年度第1回コース・レート委員会議事録

日時 平成元年4月5日(水)正午
場所 JGA会議室
出席者 尾岡委員長、新井副委員長、北村、小室、前川、松岡、諸戸、岡田、阪田、佐久間 各委員

討議及び決議事項

議題審議にさきだち、尾岡委員長より理事会の決定により今年度委員から、小林正義、金沢俊彦氏が退任、新しく佐久間剛雄氏(姉ヶ崎)が選任されたことを報告し、同氏を紹介した。

1. 今年度の方針について

尾岡委員長より、次記の方針が示され、全員これを確認した。
「今年度も相当数の査定申請があると思われる。お互い多忙の身であるが、可能な限り、ご協力いただきたい。」

そして、統一できちんとした査定を行うため

- ①最低2組(6~8人)の員数で行いたい。
- ②査定終了後、短時間(30分程度)のミーティングを行い、その日の情報を交換、確認した。
- ③前年度JGAより、新しい査定方法について、指示、通知があったが、参考にしながら従来通りの方法で行いたい。
- ④倶楽部が測量したIPポイントか疑問と思われるケースがある。事務局としてUSGAの測量器具を調査し、提示してほしい。」

また、新井副委員長より

- ①「慣れ」に陥ることなく、初心に帰って責務をはたしたい。
- ②各ホールとの疑問は、その都度その場で解決、確認したい。

分科委員会

③キャリアの長い委員と新委員とでは、査定スピードが自と異なるが、調整しながら行いたい。
といった、方針が示され、全員これを確認した。

2. 元年度上期査定スケジュールの件

4月5日現在、申請のあった倶楽部について、スケジュールを決定した。
なお、中条ゴルフ倶楽部、秋山カントリークラブについては、連盟加盟後に行うことを確認した。

3. その他

コース・レート査定費用については、各地区連盟の実情を調査し、来年度より改正したい。そのため、事務局でプランを作成し委員会に提示すること。
②事務局作成の「IPポイントの決め方」は、原案通りを承認する。

元年度第2回コース・レート委員会

日時 元年6月27日(火)正午
場所 JGA会議室
出席者 尾岡委員長、新井副委員長、小室、前川、松岡、諸戸、内藤、中野、岡田、阪田、佐久間 各委員

討議及び決議事項

1. 朝霧ジャンボリーゴルフクラブ以下5倶楽部のコース・レート査定
上記倶楽部のコース・レートについて、机上配布の資料をもとに次記のように決定した。

(1)朝霧ジャンボリーゴルフクラブ

パントグリーン	バック・ティ	71.5
北・南	レギュラー・ティ	69.3
甲斐・富士	バック・ティ	69.1
	レギュラー・ティ	67.8
南・東	バック・ティ	70.0
	レギュラー・ティ	67.8
(4)葉山国際カントリー倶楽部	ダイヤ	
モントコース	バック・ティ	70.6
パントグリーン	レギュラー・ティ	69.2

(2)赤城国際カントリークラブ

第1グリーン	バック・ティ	70.5
南・西	レギュラー・ティ	68.9
	バック・ティ	72.6

レギュラー・ティ 69.0

南・東

バック・ティ 72.5

レギュラー・ティ 69.3

西・東

バック・ティ 72.3

レギュラー・ティ 69.5

第2グリーン

南・西

バック・ティ 70.3

レギュラー・ティ 68.7

南・東

バック・ティ 71.1

レギュラー・ティ 69.0

西・東

バック・ティ 70.8

レギュラー・ティ 68.8

(3)広陵カントリークラブ

パントグリーン

北・南

バック・ティ 71.6

レギュラー・ティ 69.4

北・東

バック・ティ 69.2

レギュラー・ティ 67.4

南・東

バック・ティ 71.2

レギュラー・ティ 68.8

高麗グリーン

北・南

バック・ティ 71.5

レギュラー・ティ 69.3

北・東

バック・ティ 69.1

レギュラー・ティ 67.8

南・東

バック・ティ 70.0

レギュラー・ティ 67.8

(4)葉山国際カントリー倶楽部

ダイヤ

モントコース

バック・ティ 70.6

レギュラー・ティ 69.2

高麗グリーン

バック・ティ 69.2

レギュラー・ティ 68.0

(5)レイクランドカントリークラブ

パントグリーン

バック・ティ 71.7

レギュラー・ティ 70.0

高麗グリーン

バック・ティ 70.5

レギュラー・ティ 68.9

南・西

バック・ティ 72.6

レギュラー・ティ 68.9

2. 元年度コース・レート査定スケジュールの件

6月27日現在、申請のあった倶楽部について、下記の通り決定した。

1. 8月29日 三島スプリングスカントリー倶楽部 9:00スタート
2. 9月7日 ベルエアカントリークラブ 9:00スタート
3. 9月18日 真里谷カントリー倶楽部 9:00スタート
4. 10月2日 秋山カントリークラブ 9:00スタート
5. 10月17日 新潟ゴルフ倶楽部 午後査定
6. 10月18日 中条ゴルフ倶楽部 8:00スタート
7. 10月25日 鷹彦スリーカントリー 9:00スタート

前回委員会決定査定日

- | | | |
|-------|------------------|----------|
| 7月11日 | 上越国際十日町コース | 8:30スタート |
| 7月19日 | 玉造ゴルフ倶楽部松本コース | 9:00スタート |
| 7月25日 | 中央部留カントリー倶楽部 | 9:00スタート |
| 8月22日 | あづみ野カントリークラブ | 8:30スタート |
| 9月8日 | 妙義スプリングスカントリー倶楽部 | 9:00スタート |
| 9月13日 | 斑尾高原カントリー倶楽部 | 8:30スタート |
| 9月27日 | 東京バーディークラブ | 9:00スタート |

平成元年度第1回ジュニア委員会議事録

日時 平成元年3月29日(水) 18時
場所 鳥山城カントリークラブ 会議室
出席者 斎藤委員長、大鷲、田辺副委員長、久富、小山、内藤、小川、大久保、大竹、桜木、嶋田、安岡、松井、新田、佐藤、湯原 各委員

討議及び決議事項

議題審議に先立ち、斎藤委員長より、理事会の決定により前年度委員のうち五十嵐唯郎、金沢俊彦氏が退任、新しく松井義明(日高)、榎本靖(伊塚 当日欠席)氏、本年度より新たにジュニア女子担当委員を設け、新田佐喜子(藤岡)、佐藤水子(人間)、湯原光榮(鳥山城)三氏を選任したことを報告、五氏を紹介し、議事審議に入った。

1. 今年度活動方針

斎藤委員長より次記の方針が示され、全員これを確認した。
「委員諸氏、ならびに関係者のご協力ご協力のおかげで、ジュニア・ゴルフファアは年々増加の一途をたどっている。しかし、いたずらにその数を誇ることなく、質量ともきちんとしたものにして、ジュニアはゴルフ

ファアとしてだけでなく、人間的にも完成途上にあるわけで、ゴルフを通じての人格形成に心がけなければならない。このことを基本として、今年度の諸活動を展開したい。また、女子担当委員を新たに選任した目的は、将来の女子ゴルフファアの増加を見越して、今からジュニア女子ゴルフファアに関する諸事——男性では気がつかない、あるいはできない——ごめんどうをみて欲しいからである。諸氏のご協力をお願いする」

2. 第19回ジュニア・ゴルフ教室の件

(3月29日～3月31日 烏山城カントリークラブ)
今年度は、開催倶楽部が、日本プロゴルフ選手権の開催コースということもあり、目土、ティ・グラウンドでの素振り等、特に注意を喚起することを確認した。

3. 元年度関東ジュニア選手権予選競技の運営について

委員長、副委員長より、昨年度の運営を総括した結果、「今年度は、ジュニアの競技としての適正な参加人数、運営方法を見直したい」との基本方針が示され、具体的に①100ストローク以内でラウンドできる者を厳守すること
②高ゴ連加盟校より700名、一般高校より100名とする
以上の2点を高ゴ連、スポニチと協議、検討する旨の報告があった。

3. 夏季ジュニア教室および初心者教室の件

夏休み恒例のジュニア教室は、下記の日程で開催することを決定。
①初級者 8月28日(月)
ノーザンカントリークラブ錦ヶ原ゴルフ場
②中・上級者 8月21日(月)
桜ヶ丘カントリークラブ
8月25日(金)
東京ゴルフ倶楽部

4. (財)日本ゴルフ協会ジュニア会員について

斎藤委員長より次記の説明、要請がされた。「打撃法人化を機にジュニア会員の募集を開始した。しかし、未だ軌道に乗ったとはいえない状況である。KGAとして何を協力すべきか、何か出来るかを検討したが、一例として日本ゴルフ協会ジュニア会員武蔵カントリークラブ教室が事務局より提案された。これは先日の第2回理事会においての説明がされ、出席理事の賛同を得たものである。本日出席の委員もKGAのジュニア委員として、それぞれの所属倶楽部に積極的に働きかけてほしい」上記の報告をもとに、各委員より活発な意見、質疑が出された。

れ、全員賛意を示した。
元年度第1回広報委員会議事録
日時 平成元年4月19日(水) 正午
場所 JGA会議室
出席者 深井副委員長、舟橋、石川、片山、菊池、北川、杉山、和田 各委員

討議及び決議事項

1. 本年度活動及び編集方針
竹井委員長、所用のため欠席、深井副委員長、その意をうけ、次記の方針を示し、全員これを確認した。
「昨年度は、諸般の事情によりは減員し、基本的に24頁(本文20、表紙まわり4)で構成した。各委員よりさまざまな意見が出されたが、バックナンバーを見ても、特に問題はないと思う。したがって本年度も基本的に前年の方針を踏襲したい。各委員、とくに新任の諸氏のご協力をお願いする」

2. 「KGAニュース」26号総括
事務局局長、内容及び編集過程を説明した。全員、本文、レイアウト、写真とも特に問題ないことを確認した。

3. 元年度各企画担当委員について
担当を決定した。

4. 「KGAニュース」27号の編集について
事務局作成の割割をもとに、検討し、これを承認した。

元年度第1回税対策委員会議事録
日時 平成元年5月12日(金) 午後2時
場所 JGA会議室
出席者 松浦委員長、小宮山副委員長、北村、林、佐久目、坂口、畑、平林、小松、狐塚、森、盛川、坂本 各委員

討議及び決議事項
議題審議に先立ち、各委員自己紹介を行った。

1. 今年度活動方針
松浦委員長より次記の活動方針が示され、全員これを確認した。
「税制改革により、娯楽施設利用税が廃止され、ゴルフ場利用税となった。一応減額とはなったものの、消費税との併課など、まだいろいろと問題がある。今後の目標は、同税の撤廃にある。このためにはこれまで以上の、陳情運動等が必要となってくるだろう。諸氏のご協力ご尽力をお願いする」

2. 各都県の消費税問題について
各委員より各都県の状況報告がなされた。要約すると
1. 来場者とのトラブルはほとんど生じていない。
2. 大半のゴルフ場は外税方式をとって

いる。
3. ゴルフ場利用税の等級が各県まちまちである
3. 消費税に関するアンケート調査について
ゴルフ場事業協作成のアンケート案を手直し、加盟倶楽部を対象に行うことを了承した。

平成元年度第1回グリーン委員会議事録
日時 平成元年4月28日(金)16時30分
場所 科学技術館 第2会議室
出席者 古賀委員長、小宮山副委員長、海老原、佐久目、浅沼、福田、萩原、平林、角田、坂本、鈴木、鶴島 各委員、江原顧問、大久保、柳 参与

討議及び決議事項
1. 今年度活動方針
古賀委員長より次記の方針が示され、全員、これを確認した。

「当委員会は、地味な存在だが、その役割は極めて大きいものがある。昨今の「農業問題」にみられるように、ゴルフ場に関する世間の関心は、相当高まっており、きちんとした対応をしなければならない。その中心が当委員会である。現在JGAには、グリーン委員会はないが、諸般の事情を鑑みるにそろそろ設置の頃と考える。その新設も活動方針の一つとした」

2. 第1回KGAグリーン研究講習会総括
上記講習会は平成元年4月28日午後1時30分～4時 科学技術館地下ホールにて開催された。

講師 荒木隆男氏
日本植物防疫協会研究所技術顧問
農学博士

テーマ コース内芝草病害の実状と防除対策ならびに農業の安全使用について
出席倶楽部人数 93倶楽部 137名
マスコミ関係 8名
連盟委員 14名
計157名

「農業問題パート2」とのこと、参加が少な発着された。上記の人数であった。これは、各県での対策、対応が進んだことを裏付けている。

なお、JGAより、「農業使用マニュアル」が近日発行されること、KGA事務局にて取材した各県の現状のレポートを発行することが事務局より報告された。

次回グリーン研究講習会のテーマについて
事務局より配布された資料をもとに、各委員検討し、企画案を事務局に提出することを確認した。

平成元年度第1回コース選定委員会議事録

日時 平成元年5月22日(月) 正午～午後2時
場所 JGA会議室
出席者 細川理事長、中井副理事長、相山、福田、北村(順)、古賀、小山、松野、松浦、尾関、蜜沢、新井、布川、北村(昭)、前川 各委員
武内委員長欠席のため、中井副委員長となり、定刻より順次議題審議を行った。

討議及び決議事項
1. 平成2年度連盟主催競技開催コース選定について
上記の件につき、候補コースを選定し、委員、事務局が依頼することを確認した。

2. 平成2年度(財)日本ゴルフ協会主催競技開催コースについて
JGAより申請のあった「日本女子」の開催コースとして、

茨城ゴルフ倶楽部(東コース)
を推薦することを確認した。

平成元年度第1回入会審査委員会議事録
日時 平成元年5月22日(月)午前11時30分～12時
場所 JGA会議室

出席者 細川理事長、中井委員長、相山副委員長、藤原、福田、北村、小山、松野、松浦 各委員
古賀、河尻常務理事(加盟申請倶楽部推薦理事)

定刻、中井委員長議長となり開会、就任あいさつ後、順次議題審議を行った。

議事事項

1. 入会審査基準の見直しについて
中井委員長より、次記の提案がなされ、全員これを了承した。

「かつては、KGAの財政基盤を強化、拡大する意味から、基本的に加盟倶楽部を増やす方針をとった。しかし、昨今はゴルフ親も遠ってきており、ゴルフ場の質が問われる時代である。したがって、現行の入会審査基準を見直し、よりきちんとしたものにした。事務局からは、現行基準について加えて、

①会員募集中のものは承認しない。
②会員名簿(仮のものは否、小冊子のもの)の提出を義務づける。
③倶楽部競技を実施している。あるいは実施予定であること。

とする案が出されているが、本日の委員会では問題提起にとどめ、次回委員会に具体案を提出したい。各委員の考えを事務局までご提案いただきたい」

2. 新規加盟申請倶楽部審査について
5月22日現在、加盟申請のあった下記3

倶楽部について、慎重審議の結果、これを承認、理事会に上程することとなった。
①真里谷カントリー倶楽部(千葉)
②ベルエアカントリークラブ(群馬)
③つくばカントリークラブ(茨城)
尚、次回理事会は9月を予定しており、上記3倶楽部については、書面をもって各理事の賛否を問うこととした。

3. (財)日本ゴルフ協会普通会員入会審査
5月22日現在、入会申請のあった1名の審査を行い、これを承認。JGA入会審査委員会に上程することとした。

80関東オープン第2回準備委員会議事録
日時 平成元年5月22日(月)午後2時～3時
場所 JGA会議室

出席者 中井、古賀副委員長、河西(KGA)、高橋(正)、岡野、村上(平)、岩崎、村上(昭)、高野(以上日高カントリークラブ)、佐藤(事務局) 各委員
武内委員長欠席のため、中井副委員長議長となり、順次議題審議を行った。

決議事項
1. 競技運営について
①実施規定
別紙の規定を確認した。(加盟倶楽部送付済)
②競技特別規則について
古賀競技委員長、新井(安)競技副委員長がコースチェックを行い、決定することを承認した。

③特別協賛社及び開催倶楽部の要望事項について
イ. 特別協賛社(横河電機株式会社)より

1. 協賛金に含まれているホール・イン・ワン賞(100万円)の該当者がいなかった場合、社会福祉事業に寄付してほしい。
ii. 大会プログラムに、横河電機会長のあいさつ文を掲載してほしい。

以上については、3オープン共通の問題として、次年度検討事項とし、今年度は見送ることとした。

ロ. 開催倶楽部
i. 大会プログラムへの出稿社より、商品サンプルの無料配布の要望が出ている。
ii. 同上清涼飲料水会社より、役員、選手、報道関係者へ無料提供したい旨の要望がある。

i. については、ギャラリープラザにて配布することを認める。但し、看板等の提示は認めない。

ii. については、特別協賛社に打診する。但し、看板提示等による宣伝行為は認めない。

上記を確認した。
④大会プログラム、広告、入場券販売について
事務局より、以下の提案がなされ、これを承認した。
イ. 大会プログラム原稿(広告、本文)は、7月20日を締切りとする。
ロ. 広告募集、入場券販売については、従来どおり加盟倶楽部、役員、理事、委員にも協力を願う。

⑤競技運営社について
事務局より以下の報告、提案がなされ、これを承認した。
「会場設備(スタンド、トイレ等)、駐車場、競技運営については、関係社よりKGA事務局、開催倶楽部に見積もりを提出させ、検討の上、委員長、副委員長の決済をあおきたい」

事務局より、以下の報告、提案がなされ、これを承認した。
「会場設備(スタンド、トイレ等)、駐車場、競技運営については、関係社よりKGA事務局、開催倶楽部に見積もりを提出させ、検討の上、委員長、副委員長の決済をあおきたい」

月例競技委員会議事録
頁数の都合で、63年度第11回月例競技委員会より平成元年度第2回月例競技委員会までの4回の議事録は省略いたしました。

尚、主な決議事項は次記のとおりです。
①参加料支払方法の変更の件。
他競技と同様、所属倶楽部を通じて支払っていただくことになりました。

②平成2年度開設倶楽部については現在、交渉中です。決定次第ご連絡いたします。

③本競技の目的については、機会ある度に徹底する。

④その他、月次競技報告、出場資格者確認、各回のテーマ、等を決議いたしております。

月例競技成績表

(平成元年3月月例)

3月24日(金) 高級カントリークラブ(米山)

参加: 男子 80名 女子 46名

順位	氏名	倶楽部	アウトイン	合計
1	飯田 哲男	袖ヶ浦	36 36	72
1	山口 現明	武蔵	35 37	72
1	日暮 俊明	扶桑	35 37	72
1	桜井 真一	高坂	34 38	72
5	藤崎 和典	富士笠間	38 35	73
5	中村 清水	戸	38 35	73
コース・レート				72.6

(女子)

順位	氏名	倶楽部	アウトイン	合計
1	三木恵美子	富士	42 40	82
2	田村千代子	鎌ヶ谷	42 41	83
2	阿部 波江	赤城国際	41 42	83
コース・レート				70.5

(平成元年4月月例)

4月25日(火) 龍ヶ崎カントリー倶楽部

参加: 男子 132名 女子 71名

順位	氏名	倶楽部	アウトイン	合計
1	鈴木 軍治	袖ヶ浦	37 35	72
2	内藤 正幸	桜ヶ丘	37 36	73
3	久保谷健一	大森野	37 37	74
3	加藤 雅成	千葉国際	40 34	74
3	小川 透	同部子サン	37 37	74
3	和田 博	東京五日市	36 38	74
コース・レート				73.2

※3月度、同スコアの飯田・山口・桜井・日暮各氏のプレー・オフが行われ、日暮氏が優勝。

(女子)

順位	氏名	倶楽部	アウトイン	合計
1	三木恵美子	富士	44 40	84
2	鈴木 エツ	大森野	43 43	86
3	富藤 美樹	甘藷	43 45	88
3	尾関 久江	武蔵	43 45	88
コース・レート				71.6

(平成元年6月月例)

6月23日(金) 現況カントリークラブ

参加: 男子 84名 女子 47名

順位	氏名	倶楽部	アウトイン	合計
1	鈴木 軍治	袖ヶ浦	36 32	68
2	竹林 守	ザ・レイクス	34 36	70
3	松崎 良一	小田原	35 36	71
3	安間 章浩	成田スプリングス	36 35	71
3	嶋田 憲人	青梅	34 37	71
コース・レート				71.8

(女子)

順位	氏名	倶楽部	アウトイン	合計
1	三木恵美子	富士	37 40	77
2	加藤 勝栄	平塚富士見	40 38	78
3	阿部 波江	赤城国際	41 38	79
3	市川 慶子	江戸崎	36 43	79
コース・レート				69.6

お知らせ

訃報

渡辺 正夫氏
越生ゴルフクラブ理事長
2月1日逝去 享年74歳

西川正次郎氏
日本カントリークラブ理事長
2月2日逝去 享年75歳

水上 達三氏
美野原カントリークラブ理事長
千成ゴルフクラブ理事長
鶴舞カントリー倶楽部理事長
白龍カントリー倶楽部理事長
6月16日逝去 享年85歳

小林甲子郎氏
桜ヶ丘カントリークラブ理事長
6月27日逝去 享年82歳

佐藤和三部氏
宇都宮カンツリクラブ理事長
6月29日逝去 享年87歳

謹んで哀悼の意を表します

●「KGAニュース」No.26号・5ページ「関東シニア選」の予選通過基準数に、各ブロック60名とありますのは、40名の誤りです。訂正いたします。尚、先日おとどけいたしました、実施要項は40名となっております。

●関東ゴルフ連盟「加盟倶楽部便覧」(平成元年1月31日現在)の変更事項は下記の通りです。お手数ですが、訂正加筆をお願いします。

HDCP

- 湯沢ゴルフ倶楽部 (正) ● (誤) ▲
- 玉造ゴルフ倶楽部 (正) ● (誤) ▲

理事長

- 上越国際カントリークラブ
十日町コース
米山コース
森下 安道
- あさひヶ丘カントリークラブ
(新) 石橋徳次郎
(旧) 石橋 進一
- サンヒルズカントリークラブ
林 瑞祥

- 東ノ宮カントリークラブ
(新) 樋口廣太郎
(旧) 浅村 廉
 - 金乃台カントリークラブ
(新) 重國 昭夫
(旧) 中川 正典
 - 越生ゴルフクラブ
(新) 加藤千寿夫
(旧) 渡辺 正夫
 - 日本カントリークラブ
(新) 羽倉 信也
(旧) 西川正次郎
 - 戸塚カントリー倶楽部
(新) 吉岡 文平
(旧) 日比野恒次
 - 伊東カントリークラブ
(新) 藤井 義弘
(旧) 永田 敬生
 - 南富士カントリー倶楽部
(新) 大石 幸一
(旧) 杉山 績
- 倶楽部名称**
(新) グランステージカントリークラブ
丸子コース
(旧) 信州丸子高原カントリー倶楽部
- 倶楽部代表者**
- サンヒルズカントリークラブ
(新) 林 瑞祥
(旧) 福田 富市
(旧) 守川富三郎
 - 越生ゴルフクラブ
(新) 加藤千寿夫
(旧) 渡辺 正夫
(旧) 錦織 正
 - 小金井カントリー倶楽部
(新) 佐藤 和雄
(旧) 堀 正彦
 - 戸塚カントリー倶楽部
(新) 吉岡 文平
(旧) 日比野恒次
- 支配人**
- 甲府国際カントリークラブ
(正) 佐藤 辰夫
(誤) 佐藤 辰雄
 - チサンカントリークラブ黒羽
(新) 宮内 始
(旧) 渡部 裕司
- 東宇都宮カントリークラブ
(新) 大谷 秀雄
(旧) 佐々木誠之
 - スプリングフィルズゴルフクラブ
(新) 石井 修
(旧) 大和田勝弘
 - 日高カントリークラブ
(新) 高野庄太郎
(旧) 村上 昭吉
 - 国際空港ゴルフ倶楽部
(新) 藤岡 俊臣
(旧) 塩原 明
 - 南千葉ゴルフ倶楽部
(新) 中島 徳治
(旧) 大竹 豊英
 - 伊東カントリークラブ
(新) 渋谷信太郎
(旧) 田崎明治郎
 - 富士チサンカントリークラブ
(新) 徳丸 俊夫
(旧) 野沢 雅美
 - 南箱根ゴルフ倶楽部
(新) 中村 俊之
(旧) 浪瀧 善昭
- ファックス (所在地)**
●諏訪湖カントリークラブ
0266-52-1737
- 電話 (所在地)**
●日高カントリークラブ
(正) 0429-89-1311
(誤) 04298-9-1311
- 東京事務所**
- ウィラ夢科カントリー倶楽部
(新) ☎162 新宿区下宮比町3-2
飯田橋スクエアビル3階
☎03-5261-3711 ☎03-5261-0355
 - (旧) ☎160 新宿区新宿1-16-10
コスモ御苑第一ビル5階
☎03-357-6786 ☎03-353-6922
 - 南箱根ゴルフ倶楽部
(新) ☎151 渋谷区代々木3-25-3
大東京火災新宿ビル18階
☎03-5371-5505 ☎03-5371-5510
 - (旧) ☎160 新宿区西新宿1-21-1
明宝ビル
☎03-343-2921 ☎03-346-3035

平成元年8月1日発行 KGAニュースNo.27

発行所 関東ゴルフ連盟 東京都千代田区丸の内1-1-1 Tel(03)215-0511 発行人 細川護貞 編集 広報委員会